

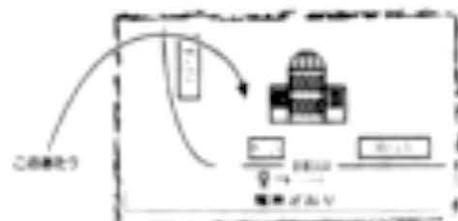
# 8・6広島青空式典に集まれ！

日時：2024年8月6日(火)10時30分

場所：広島原爆ドームの隣り

## プログラム

1. 開会の言葉
2. 黙 禱
3. 基調報告 被爆二世の会
4. メッセージ
5. 各団体・個人からの発言・うた
6. 閉会の言葉
7. シュプレヒコール



私たち「8・6広島青空式典から9・6「山口のヒロシマ・デー」へ！連続行動実行委員会」は、1985年以降、毎年8月6日に広島市の平和公園内で、被爆二世・学生・労働者・障害者など市民の手による反戦・反核・反原発・被爆者解放の集会「青空式典」を開催してきた。2013年より韓国の仲間も加わり、日韓共同行動も行っている。「青空式典」と同じ場所で、「戦争と被ばくを許さない写真展—命を脅かすもの—」も開催している。

**ガザでのイスラエルによる住民虐殺を止めろ！ウクライナ戦争反対！**

**核戦争起こすな！残された被爆者問題を解決しよう！**

米軍の爆撃機が広島・長崎に原爆を投下してから、79年の歳月が経とうとしている。現在も中東のガザ地区で、イスラエル軍により多くのパレスチナ民衆が殺されている。また、ロシアがウクライナに侵略し、欧米諸国がウクライナに軍事支援することで今もウクライナ戦争が続いている。イスラエルもロシアも核兵器保有国であり、原発への攻撃も含めて、いつ核戦争が起こってもおかしくない状況だ。しかも、核兵器保有国は軍事同盟を利用し、原子力潜水艦を強化して核戦力を高めようとしている。

私たちは訴える。核に抑止力は無い。核兵器の被害は、世代を超えて続いていく可能性があり、人道に許すことのできない兵器である。人類と核は共存できない。

私たちは未だに被爆者と認められず、被爆者援護法による援護を受けられない被害者が多数いることを知っている。それは、長崎の被爆体験者であり、原爆被爆二世だ。

2021年7月、広島高裁は「黒い雨」訴訟控訴審判決で「放射線被ばくの可能性を否定で

きない人々は、被爆者援護法の第3号被爆者として認め、救済せよ」と断じた。日本政府は上告しなかった。

にもかかわらず広島「黒い雨」被爆者と同じように、放射線被ばくの可能性を否定できない長崎の被爆者を被爆体験者として被爆者援護法による援護をしていない。

原爆被爆二世は、両親又はどちらかが被爆者で1946年6月1日（広島被爆）か6月4日（長崎被爆）以降に生まれた放射線の遺伝的影響の可能性を否定できない存在だ。原爆被爆二世にも被爆者援護法による援護が必要だ。

これを阻んでいるのは、米国が核の被害を過小評価して広島・長崎への核兵器使用を戦争犯罪として認めず、核抑止力を正当化しているからだ。また、日本政府が新たな戦争できる国づくりを推し進めるために、憲法違反の安保法制を作り、敵基地攻撃能力を含めた米国と一体化した核軍事同盟を推し進めているからだ。

私たちは、核抑止力を肯定する日米韓防衛相会談共同声明に抗議し、3か国共同訓練「フリーダム・エッジ」に反対する。

決してあきらめずに、長崎の被爆体験者と原爆被爆二世の被爆者援護法に基づく援護を勝ち取る！イスラエルは、ガザ地区でのパレスチナ住民虐殺を止めろ！ウクライナ戦争を即時停戦せよ！

## 86 広島で伝えたい「広島市の近くで起こっていること」

岸田政権は、2023年から5年度間の軍事予算を43兆円とし予算を1.6倍とする過去最大の増額を行うことを閣議決定。その予算は、どこへどう使うのか。その答えの一部はこの広島市の周辺にもある。今日、あなたが訪れた「広島市」周辺でも軍拡が起こっているのだ。



○兵市には、海上自衛隊兵基地があり、多くの艦船が配備されている。今、ここに、防衛省が新たな多機能な防衛拠点を整備する計画がある。計画では、「装備品の維持整備と製造基盤」、火薬庫も含む「艦艇の配備や訓練場など部隊の活動基盤」「岸壁などを活用した港湾機能」が示されている。兵の出撃拠点化で、日本

が堅持してきた専守防衛の考え方を言葉どおり力技で覆すものだ。2023年2月には、広島湾で初の日米共同訓練も行われたが、この広島湾には山口県岩国市の米軍岩国基地がある。○岩国市にある岩国基地は、近年、港湾深化と滑走路増築がなされ、東アジア最大級と化

した軍事基地だ。現在更に、燃料タンク増設等による基地機能強化も目論まれており、軍拡が続いている場所でもある。基地には、米海兵隊、米海軍と海上自衛隊が所属しているが、米海兵隊は戦争の先鋒となる殴り込み部隊だ。先に述べた日米共同軍事演習等、日米軍の一体化・統合化が進んでいるが、米軍との一体化や自衛隊の軍事機能の拡充は、日本の戦争準備に他ならない。

私たちは、もう二度と戦争しないと誓ったはずだ。79年前の誓いをもう一度思い出し、あなたや私が、今訪れている広島の「近く」で行われている「戦争の準備」を止めなくてはならない。それが、亡くなった人たちへの本当の意味での追悼ではないだろうか。

### 慰霊とは

1945年8月10日に出された「米機の新型爆弾攻撃に対する日本政府の抗議文」には「(前略)従来 of いくばく兵器、投射物にも比し得ざる無差別性惨虐性を有する本件爆弾を使用せるは人類文化に対する新たなる罪状なり。帝国政府は自らの名において、かつまた全人類および文明の名において、米政府を糾弾すると共に、即時かかる非人道兵器の使用を放棄すべきことを嚴重に要求す。」とある。日本軍のアジアでの戦争犯罪には類かむりした上で、米政府の戦争犯罪を糾弾し核兵器の使用禁止を要求するというダブルスタンダードではあるが、サンフランシスコ講和条約に調印し日米安保条約を締結しアメリカの核のカサに頼る現日本政府よりはるかに被爆者の思いに寄り添った内容だ。アメリカ軍の原爆投下で殺された人々が、もし生きていれば米国の戦争犯罪を糾弾し、核兵器の保有・使用に反対するのは当然だろう。従って、亡くなった被爆者の思いの代弁をデモや集会等で行うことも、重要な慰霊の表現と感じる。静かに亡くなった方々の冥福を祈る慰霊行為となら矛盾しない。ということは、今年の8月6日の平和記念公園において広島市が一方的に一律規制強化することは「慰霊の規制」とも言え、非常に残念だ。



## スローガン

1. 全ての被爆者・被爆二世・被爆三世の国家補償を勝ち取ろう！
2. 日本政府はアジアの戦争被害者に謝罪と補償を行え！
3. 日本の核武装を許さず、世界中から核を廃絶しよう！  
核戦争を起こすな！劣化ウラン弾を使うな！
4. ロシアはウクライナを侵略するな！ NATOは戦争を煽るな！  
イスラエルはガザでの虐殺止めろ！
5. 上関にもどこにも原発も中間貯蔵施設もいらない！
6. 日本政府は原発被ばく者に国家補償を行え！
7. 全ての原発の再稼働を許さず、廃炉にしよう！ 原発の新設、増設、輸出を阻止しよう！  
福島第一原発の汚染水を海に流すな！
8. 憲法改悪を阻止しよう！
9. 安保関連法を廃止しよう！
10. 岩国の愛宕山に米軍住宅はいらない！敵基地攻撃能力はいらない！  
辺野古の新基地建設やめろ！  
米軍再編に反対し、全ての米軍基地をアジアから撤去しよう！
11. アジアの仲間と共に平和を実現しよう！



### 主催:

8・6 広島青空式典から 9・6「山口のヒロシマ・デー」へ！連続行動実行委員会

### 呼びかけ団体:

被爆二世の会

全国一般労働組合全国協議会 山口連帯労働組合(連帯労組・やまぐち)

アジア共同行動(AWC)山口

やまぐち障害者解放センター

憲法を活かす市民の会・やまぐち

### 連絡先:被爆二世の会

〒753-0000 山口中央郵便局 私書箱 79 号

mai@hibaku2@ic-sble.ne.jp <https://hibaku2.info/>